

■目的と理由■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 451 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

451 目次

1. ご挨拶とお誘い
2. まつむら塾より
3. ブログより：目的と理由
4. 今週の動向+今後の予定
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. ご挨拶とお誘い

先週のご報告。

11/29(水)は、受講生が 1 名になってしまったオンライン講座に SH さんがご参加くださり、継続開催が決まりました。

12/1(金)勝手ながら、(株)なのにの業務報酬（まつむら塾を含む）を改定（10%値上げ）しました。

新規受注分から定めますので、お許してください。

それと、ホントに私的なことなんですが、12/3 骨折したひざ関節の屈曲確度 120 度を達成しました。

順調に回復していますので、どうかご心配なく！

.

今週も、火木土は笑恵館でみっちり働きながら、右足のリハビリに努めたいと思います。

12/8(金)には、池尻ロマンス座※のメンバーが、僕も参加できるよう祖師ヶ谷大蔵の中華屋さんで忘年会を開催してくれます。

そこで僕は笑恵館での 2 次会を提案し、飲み会+麻雀大会を準備中です。

年末に向け、祖師ヶ谷大蔵駅周辺での私的な忘年会大歓迎です。

月水金の夜ならば、松村の部屋に宿泊も可能ですので、気軽にお誘い下さい！。

.....

2. まつむら塾より

現在開催中の講座は下記の通り（1 か月分）。

名称	日時・内容	場所	受講料
土曜ガイドダンス講座	毎週土曜日 10-17 時	笑恵館	無料
実現学（夜教室）	12/05(火)14-16 時・B11,12 補講 12/06(水)22-24 時・B13.自分とみんな 12/13(水)22-24 時・B14.見かけと中身 12/20(水)22-24 時・B15.過去と未来 12/27(水)22-24 時・B21.自分の印象	zoom	3,000 円/回
実現学（火朝教室）	12/12(火)10-12 時・B24.伝達の確認 12/26(火)10-12 時・B25.感動の作り方	笑恵館	3,000 円/回

その他、希望者さえいれば、全講座新規開講いたしますので、気軽にお問い合わせください。

■地主の学校・販売中

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

3. ブログより：目的と理由

目的とは夢や願いのこと。

目的の実現とは、夢を現実にしたり願いを叶えることだ。

だがそのためには、夢のような現実を作る前に「実現可能な具体的な夢」を自分自身の頭の中で作り出さなければならない。

そこで僕は、まつむら塾・実現学を開催し、自分の中に世界を作り出す方法を探求している。

① 実現 = 自分+世界

・

「目的のために手段は選ばない」とは、「目的を実現するためなら、制約なしに最適の手段を選ぶ」ことを意味している。

だが、「目的」を実現できそうな手段が複数あっても、それを目的によって絞り込むことは難しい。

最適な手段を絞り込むにはそのための理由が必要だが、未経験の手段にはそれを選ぶ理由（経験）が無い。

結局のところ、いくつかを試した結果、有効な手段を選ぶ理由が見いだされ、次のように表記できるようになる。

② 理由 ⇒ 手段 ⇒ 目的

・

一方、目的を実現するための手段とは、目的実現のために実施される方法のこと。

目的の実現が自分自身だけで完結するのなら、手段もまた自分一人の行為だけで完結できようが、目的が少しでも自分以外の世界を巻き込むのであれば、その実現には自分以外を動かす現象を伴う必要が有る。

これをあえて式にすると、次のようになる。

③ 手段 = 行為+現象

・

現象とは、原因が結果を生むプロセスを指す言葉だが、両者の関係は因果関係とも呼ばれ「原因⇒結果」とあらわせるので、現象は次のように表記できる。

④ 原因 ⇒ 現象 ⇒ 結果

・

②と④は、①の内容をよく表している。

つまり、「実現」が「自分と世界」の双方で同時進行するということは、「手段」という方法が「行為と現象」の両面で進行することを意味している。

だとすれば、②の手段は行為と読み替えて、

⑤ 理由 ⇒ 行為 ⇒ 目的

としても良いかも知れない。

つまり、「理由と目的 (why)」は、夢や願いの内の「自分の思い」を指している。

・

とまあ、ここまでお読みいただきご苦労様。

実はこの理屈で、僕は「目的と理由」の違いを解明できた。

僕はこれまで、「why」を「目的」、「how」を「方法」と捉え、両者をつなぐ「what」を「手段」と捉えていたが、「why なぜ」の答えには、「何のため (目的)」と「なぜなら (理由)」の2つがあり、苦し紛れに「why の未来と過去」とこじつけてきた。②

ところが先日、「目的」と「理由」の違いに関する明確な答えに出会ってしまい、実現学を大幅に修正せざるを得なくなった。

「なぜあなたは英語を話せるようになりたいのですか？」

という問いに対する下記の答えの内、どれが目的で、どれが理由だろう。

A 「カッコいいから」

B 「イギリス人の彼女とたくさん話せるようになりたいから」

C 「通訳を仕事にしたいから」

D 「お父さんに、英語を勉強しろと言われたから」

E 「多くの世界を知るため」

目的と理由の区別は簡単で、能動文にした時の主語が私なら「目的 (B C E)」で、それ以外なら「理由 (A D)」となる。

・

これまで僕は、目的を未来の why、理由を過去の why と区別してきたのだが、これはどうやら間違っていたようだ。

いや正確に言えば、この区別は正しいが、「未来と過去の解釈」が間違っていたと今気が付いた。

まだ誰も知らない未来は、自分の意思と願望だけで構成されているが、過去は世界の現実をすべて受け入れた容赦ない現実だ。

つまり、現在を挟んで対峙する「これからとこれまで」ではなく、濃密なすべての現実に対峙する未知で未達の空白だ。

目的が実現する時にだけ、その実現が理由となって新たな未来が開けていくはずだ。

<https://nanoni.co.jp/20231204-2/>

.....

4. 今週の動向+今後の予定 (下記以外はまつむら塾受付中)

【凡例】◎：要連絡、○：要申込、×：一般参加不可

■今週の動向

- (火) 12/05 笑恵館作業日
会議○：20-21 時 LR 定例会議_4 火 (zoom)
- (水) 12/06 日楽庵作業日
検診×：10-12 時 関東中央病院 (上用賀)
講義○：20-22 時 まつむら塾：実現学 (zoom)
- (木) 12/07 笑恵館作業日
- (金) 12/08 日楽庵作業日
交流○：19-23 時 池尻ロマンス座忘年会 (祖師ヶ谷大蔵一笑恵館)
- (土) 12/09 笑恵館作業日
会議×：09-11 時 RYUSEN・PJT_2 土 (笑恵館)
交流◎：10-17 時 よろず相談会_土 (笑恵館)
- (日) 12/10 日楽庵作業日
会議×：10-12 時 100SMILES_2 日 (zoom)
- (月) 12/11 日楽庵休業日

■今後の予定

- 12/12 会議○：20-21 時 LR 定例会議_2 火 (zoom)
- 12/16 会議○：10-12 時 八島花文化財団理事 MTG_3 土 (zoom)
- 12/16 交流◎：10-17 時 よろず相談会_土 (笑恵館)
- 12/16 交流○：18-20 時 住人食事会_3 土 (笑恵館)
- 12/21 交流◎：13-18 時 なるほどデイ_3 木 (笑恵館)
- 12/21 交流◎：18-20 時 持ち寄り食事会_3 木 (笑恵館)
- 12/21 会議○：20-22 時 AR・Q ミーティング_3 木 (zoom)
- 12/24 交流○：10-14 時 名栗の森 OSC 例会_4 日 (飯能)
- 12/26 会議○：20-21 時 LR 定例会議_4 火 (zoom)
- 12/28 交流◎：10-12 時 笑恵館 de シネマ_4 木朝 (笑恵館)
- 12/28 会議◎：17-19 時 笑恵館運営会議_4 木 (笑恵館)
- 12/28 交流◎：19-21 時 笑恵館 de シネマ_4 木夜 (笑恵館)
- 01/13 会議×：09-11 時 RYUSEN・PJT_2 土 (笑恵館)
- 01/14 会議×：10-12 時 100SMILES_2 日 (zoom)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

・・・・・・・・・・・・・・・・

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>